

ポストコロナ時代の新しい旅のカタチ ”ナノツーリズム”の思考と実践

アイデアを集めれば「楽しい」ことはどこにでもある

“ナノツーリズム”とは！？
マイクロツーリズムよりさらに小さい
範囲で行う地域資源を活かした
体験型旅行のこと

インバウンド観光が見込めない
今のうちに地域に目を向けて
観光資源を掘り起こそう！



地方創生実践塾 in 群馬県みなかみ町

好評につき2年連続開催！！

日程：令和3年10月8日(金)～9日(土)

会場：「泊まれる学校さる小」

対象：地域づくりに興味のある方

(地域づくり団体、公務員、地域おこし協力隊、学生等)

定員
40名



主催：(一財)地域活性化センター 共催：みなかみ町 後援：内閣府、総務省、群馬県



講師プロフィール

主任講師



福田 一樹氏
(一般社団法人
みなかみ町体験
旅行 専務理事)

勤めていた旅行会社の新規事業をきっかけにみなかみ町へ。旅館再生業、観光協会での勤務経験を経て、平成24年に同法人を立ち上げた。地域の人にスポットをあたる着地型旅行の企画造成を行っている。昨年から本格的に町内の小学校へのプログラム提供を開始し、旅行を教材とする授業も開始。地域の「もったいない」をツールとする集客手法が得意。

特別講師



田村 秀氏
(みなかみ町政策
アドバイザー)

昭和37年生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業。国際基督教大学博士(学術)。旧自治省入省。岐阜県地方課、香川県企画調整課長、三重県財政課長、バーミンガム大学客員研究員、自治大学校教授を経て、平成25年より新潟大学法政学部長。平成27年より群馬県みなかみ町政策アドバイザー。専門分野は、行政学、地方自治、公共政策、食によるまちづくり。「地方都市の持続可能性」(筑摩書房)、『B級グルメが地方を救う』(集英社)など著書多数。

特別講師



長壁(おさかべ)
総一郎・早也花 氏

2015年、青年海外協力隊に参加し途上国での活動に従事。帰国後、それぞれ大学院進学や民間企業での勤務を経て夫婦での起業を決意。2020年にみなかみ町へ移住。自伐型林業チームに所属し、自ら採取した間伐材を原料としたエッセンシャルオイルの製造を開始。環境負荷が少ないモノづくりを心掛け日々蒸留をおこなっている。

特別講師



加藤 正一氏
(みなかみ町立
新治小学校校長)

令和元年度より現職。教員として「理科のおもしろさを子どもたちに伝えること」を天職と感じていたが、「地域づくり」や「学校と地域住民との連携協働」に関わる方々の熱い思いと実際の活動の魅力に惹かれ、関連する講演会や書籍で貪るように学んだことが学校経営の基盤。

特別講師



小野 宏和氏
(みなかみ町役場
総合戦略課主幹)

1978年みなかみ町生まれ。2002年みなかみ町役場入職。税務や福祉などの業務に携わり、現在は総合戦略課地方創生室に所属。主な業務はみなかみユネスコエコパーク、SDGsなど。自然環境に関する業務に携わり今年で11年目。



さる小について

2008年3月に廃校となった猿ヶ京小学校をリノベーションし、2012年4月に「泊まれる学校さる小」として生まれ変わりました。

「泊まれる学校さる小」は、温もり溢れる木造校舎にその名の通り「泊まれる」貸切の施設です。グラウンドでは野球・サッカー、運動会や雪合戦、プールでは水泳、校舎の中では吹奏楽やピアノ、バンドの練習など周りを気にせず行うことが可能です。自然豊かな恵まれた環境の中で、貸切にできることから、様々な活動で利用されている人気の施設となっています。



飯島 健治氏
(泊まれる学校
さる小 校長)



スケジュール

※内容が変更となる場合があります

10月8日(金) 12:45～17:35
(12:15～受付)

- 開講式
- 講義Ⅰ
「みなかみ町の観光に関する解説」
田村 秀氏
- ワークⅠ
「目標と活動内容の説明、自己紹介」
- 講義Ⅱ
「みなかみ版 地域密着旅行の実践例と手法の解説」
福田 一樹氏
- パネルディスカッション
「地域密着型旅行がもたらす効果とは??多角的な視点で振り返る」
・パネリスト
加藤 正一氏、飯島 健治氏、
小野 宏和氏
- ワークⅡ
質疑応答・意見交換
- 交流会(18:30～)

10月9日(土) 9:00～15:30
(8:45～受付)

- フィールドワークⅠ
「これからの観光に大切なもの、どんなものでも観光資源」
長壁 総一郎、早也花 氏
- ワークⅢ
「自分がやりたいことを明確にする」
- 昼食
- ワークⅢ
「やりたいことを実行するための第1歩について考える」
- 発表
- 講評
- 閉講式



申し込み方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。

- ホームページ申込フォームから
(右のQRコードを読み取り)
必要事項を入力の上、
お申込みください。



- e-mail(chiiki@jcrd.jp宛て)

件名を「実践塾みなかみ町申込」とし、本文に次の各事項をご記入の上、送信してください。

- ①氏名
- ②氏名(フリガナ)
- ③セミナー当日の年齢
- ④郵便番号・住所
- ⑤勤務先(団体名・役職)
- ⑥勤務先電話番号
- ⑦携帯電話番号(当日連絡が取れる番号)
- ⑧メールアドレス
- ⑨交流会の出欠(会費制・5,000円程度)
- ⑩9日の昼食の要・不要(1,000円程度)
- ⑪請求書の要・不要(必要であれば宛名を記入)



お申し込みにあたって

- 実践塾の受講は、地域活性化センターの個人賛助会員が受けるサービスの一環です。
(他に機関紙配布、メルマガ配信等のサービスがあります。詳細は<https://www.jcrd.jp/>)。このため受講を希望する場合は、賛助会員になっていただく必要があります。
- 賛助会費は、【地方創生実践塾地方版L会員10,000円、地方版LS会員(学生)5,000円】です。開催日3日前以降のキャンセルは賛助会費の返金はできかねます。
なお、開催地までの往復交通費・宿泊費・飲食代等は別途ご負担となります。
- ※万全の感染防止対策のもと実施しますが、体調不良や風邪などの症状がある方は参加をご遠慮いただきます。